

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	商業簿記 1 (Commercial Bookkeeping 1) 392085-14-600					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

商業簿記 1・2 では、1 年次配当の簿記入門の知識を前提とし、商品売買業およびサービス業を中心とした高度な簿記を学ぶ。特に商業簿記 1 では日常の取引に関する仕訳を中心に学ぶ。本講義は事務・経理職を目指すために必須の知識であり、日商簿記検定 2 級に対応する科目である。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力

③ 授業の進め方・指示事項

授業は講義・演習に PC を用いるので PC 必携である。毎回電卓を持参すること。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「商業簿記 2」「工業簿記 1」「工業簿記 2」と共に履修することを強く推奨する。

⑤ テキスト (教科書)

紙の教科書は用いない。代わりとして『Funda 簿記』という PC を用いたシステムを利用し、個人アカウントを購入してもらう。(「商業簿記 2」「工業簿記 1」「工業簿記 2」すべて共通)

⑥ 参考図書・指定図書

各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 日常の取引に関する仕訳について、標準的な検定試験レベルの問題を解くことができる。
- (ii) 勘定記入問題について、標準的な検定試験レベルの問題を解くことができる。
- (iii) 精算表作成問題について、標準的な検定試験レベルの問題を解くことができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日常の取引に関する仕訳	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの問題について6割程度正答できる	基本的レベルの問題について正答が6割に満たない
(ii) 勘定記入	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの問題について6割程度正答できる	基本的レベルの問題について正答が6割に満たない
(ii) 精算表の作成	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの問題について6割程度正答できる	基本的レベルの問題について正答が6割に満たない

⑨ 学習到達目標(評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%					100%
(i) 日常の取引に関する仕訳	40%	20%					60%
(ii) 勘定記入	20%						20%
(iii) 精算表の作成	20%						20%
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。						

⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
Funda 簿記のシステムを利用することで、各自の理解度に合わせた問題を出題するなど、システムの良い点を活かしたい。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス・3級の復習	簿記入門 1・2 の内容を復習しておくこと	120 分
2	株式の発行	予習：株式の発行について、簿記入門で学んだものとの違いを把握する 復習：指示された問題を解く	120 分
3	剰余金の配当と処分	予習：準備金の積立てについて計算式を覚える 復習：指示された問題を解く	120 分
4	株主資本の計数変動・税金	予習：特に課税所得計算を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
5	商品売買	予習：売上原価の算定について、簿記入門の範囲を復習しておく 復習：指示された問題を解く	120 分
6	手形と電子記録債権（債務）等	予習：電子記録債権債務については3級の復習をする。手形の裏書・割引・不渡について理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
7	銀行勘定調整表	予習：不一致の原因と当社の処理について理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
8	固定資産①（購入、減価償却、売却、買い換え）	予習：特に定率法による減価償却について理解を進める 復習：指示された問題を解く	120 分
9	固定資産②（除却・廃棄、建設仮勘定、改良・修繕、滅失、固定資産管理台帳）	予習：固定資産の購入からてん末（売却等）までの一連の流れを掴めるようにする 復習：指示された問題を解く	120 分
10	リース取引	予習：リース取引の分類と処理方法を掴む 復習：指示された問題を解く	120 分
11	研究開発費と無形固定資産、有価証券①（購入と売却、配当金・利息の受取り）	予習：有価証券の取得原価と平均単価の計算を理解する 復習：指示された問題を解く	120 分
12	有価証券②（端数利息の処理、評価替え、償却原価法）	予習：特に償却原価法の計算方法を理解しておく。（電卓持参） 復習：指示された問題を解く	120 分
13	引当金	予習：貸倒引当金の差額補充法について簿記入門の復習を行う。貸倒引当金以外の引当金について学んでおく 復習：指示された問題を解く	120 分
14	サービス業の処理	予習：サービス業における取引と処理について一連の流れを把握しておく	120 分

		復習：指示された問題を解く	
15	まとめ	予習・復習：指示された問題を解く	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性